

令和4年度 第1回学校運営協議会（記録）

今年度から、北海道教育委員会により学校運営協議会を本校に設置することとなりました。本校にとって初めての学校運営協議会を令和4年9月28日（水）10時00分より、9名の委員の出席のもと開催しました。

令和4年度の今年度の学校運営協議会委員は、次の方々です。

- ・北條 俊介 様（本校PTA会長）
- ・渡邊 一雄 様（真駒内東町町内会 会長）※欠席
- ・山名 常二 様（澄川第九町内会 会長
精進川美化・緑化の会 会長）
- ・菊地ひとみ 様（社会福祉法人札幌肢体不自由福祉会 施設長）
- ・戸倉 聡 様（医療法人仁友会日之出歯科真駒内診療所 会長）
- ・高橋 和明 様（札幌大学 教授）※欠席
- ・上林 宏文（本校 校長）
- ・近藤 正臣（本校 副校長）
- ・越田 淳（本校 教頭）
- ・橋本 雅志（本校 事務長）
- ・寺尾 瑞穂（本校 教諭）

開会に先立ちまして、委員の皆様へ辞令が交付されました。



最初に、副校長より、学校運営協議会設置の背景や役割についての説明がありました。昨年度までの学校評議員会では学校の取り組みを地域の目で評価していただくものでしたが、学校運営協議会では地域と共に学校の取組を共通理解し、連携協力していくと、その違いが説明されました。

次に、校長より今年度の学校経営方針に関して、

①経営方針、②令和4年度の重点目標、④経営の重点と教育の重点について説明を行いました。この学校経営方針については、出席された委員の皆さんから承認をいただきました。

また、校長からは、今年度の学校運営教委議会について、「今後、本校にとって地域とどう交流していったらよいか、プランを考える年にしたい。そのアイデアを出し合うことを、今年度のゴールにしたい」という提案がありました。



次に、副校長から本校の教育活動の概要について、スライドを利用して説明があり、その後、校内見学を行いました。

校内見学後、委員の皆様から次のような感想等をいただきました。

- 校内を回って手作りの教材や自教具・補助具が多かった。児童生徒一人一人、できることが違うため、オーダーメイド、ないなら作るという精神が素晴らしい。
- 以前は、用語が難しいなと感じたことがあったので、今日の資料はわかりやすくまとまっていた。

- フラワースマイルの取組は、元々、地域に居住している真駒内養護学校の教職員から、「生徒と花植をしたいんだけど、どうしたらいいか」という相談を受けたことがきっかけであった。今年度は、1mの塩ビ管を切って、そこに車いすでも植えるようにした。高さがあるので目立ちやすく、地域の住民からも評判が良い。コロナ禍で難しいが、もう少し生徒さんと関わっていきたい。
- 生活介護事業所では、学校時代に比べると人手の関係などで活動の質が落ちることがある。事業所も工夫しているが、不十分になることもある。卒後の生活をどう充実させていくか、学校と連携が必要になってくる。
- 平成5年度から学校評議員として関わっている。摂食、嚥下に関する指導や、医療的ケアなど、学校の取組が進歩していることが素晴らしい。
- グラウンドのブランコが耐用年数超過のため1台しか使えない状況であった。修理するにも撤去するにも高額な費用がかかるために手がつけられていない状況。スクラップ&ビルドをしていかないと宝の持ち腐れになる可能性もあるので心配である。

続いて、「本校児童生徒の地域貢献や社会参加、地域の理解や意識の促進」について、意見交流を行いました。委員の皆様から次のような意見等をいただきました。

- フラワー作戦について、せっかく植えたら、生徒達が週に1回でも水やりをしてもらったらうれしい。
- コロナ禍でできなくなっているが、以前は福祉会館の清掃をしてもらっていた。そのような取組は地域としてありがたい。
- ゲストティーチャーは、特に高等部が「発揮する」を大事にして、学校職員以外と生徒が関わる活動を行っていた。精進川のこいのぼり飾り付けや、澄川婦人会の乾燥野菜作りや調理、ポニーショップで一緒に物作りなど。教職員が情報収集して、ゲストティーチャーにつながっていた。
- これから学校便りも地域に回覧し、その中でゲストティーチャーを募集するのもよいのでは。
- 福祉事業所と、お祭りなどのイベントを一緒に開催するのもよいのでは。
- お祭りには、ポッチャやハンドアーチェリーなどのパラスポーツの機材を貸し出すことも可能。またパラスポーツを地域の方と一緒にやるのもよいのでは。

次回の学校運営協議会では、新学習指導要領の「社会に開かれた教育課程」を実現するために、今回の意見を更に深めていく協議をしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

(教頭 越田 淳)